



年末に、暮れの風物詩である並木町の八坂神社の「酉の市」に行ってきました。

酉の市は、他の地方では11月の酉の日に行われる祭りですが、渋川では古くから12月に「お酉様」と呼ばれて行われ



▶縁起物の熊手を手に

ています。

境内では、昔ながらの出店があり、新年の開運招福、商売繁盛を願い、縁起熊手を買い求める人が訪れていました。かつては、縁起物や植木などたくさん露天が立ち並びにぎやかだったそうです。今でも地域の人々によって受け継がれていることは素晴らしいです。

八坂神社境内には、1663(寛文3)年から渡御されていたと記録がある神輿や、事業家渋沢栄一の揮毫した「八坂神社」の額も飾られていて、往事の繁栄が偲ばれます。

三国街道の宿場町として、町割り4百年の歴史を持つ渋川のまちなかを、活気のあるまちに再生していきたいと思

います。

境内の一角でたき火を囲み、振る舞われたシヨウガ入りの甘酒をいただき、身も心も温まりました。

社務所でガラボンの福引きを廻したら、一等賞の玉がきらりと出て、「おめでとう」の掛け声とともに鐘が打ち鳴らされ、びっくりしました。賞品のお米を抱えて幸せな気分

で参道を帰りました。

今年「子」年。十二支の始まりです。皆様にとって良い年になりますようお祈りします。